



CHAPTER 4

Video Portal アプライアンスの管理

この章では、アプライアンス管理インターフェイス（AAI）を使用して Video Portal アプライアンスを管理する方法を説明します。内容は次のとおりです。

- 「AAI の起動と使用方法」 (P.4-1)
- 「日常の管理作業の実行」 (P.4-1)
- 「Video Portal の命名または名前変更」 (P.4-5)
- 「アプライアンスのネットワーク設定の変更」 (P.4-7)

AAI の起動と使用方法

アプライアンスのログイン プロンプトから AAI を起動するには、第 2 章「Video Portal アプライアンスのセットアップと設定」の作業チェックリストを実行したときに指定した管理者アカウントのユーザー名 **admin** およびパスワードを入力します。

AAI でオプションを表示するか、選択内容を変更するには、次のいずれかを実行します。

- オプションを選択するには、またはオプションのリストを順に参照するには上または下の矢印キーを押します。
- 選択したオプションをオンまたはオフにするには、**Space** キーを押します。
- オプションの変更を保存して有効にするには、**Enter** キーを押します。

日常の管理作業の実行

- 「アプライアンス システム情報の表示」 (P.4-2)
- 「システム ログのコピーの取得と転送」 (P.4-2)
- 「アプライアンス管理パスワードの変更」 (P.4-3)
- 「アプライアンス ソフトウェアのパッチまたはアップデート」 (P.4-4)
- 「アプライアンスの再起動」 (P.4-4)
- 「アプライアンスのシャットダウン」 (P.4-4)

アプライアンス システム情報の表示

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [SHOW_INFO] を選択し、**Enter** キーを押します。

システム ログのコピーの取得と転送

アプライアンスのログ ファイルのコピーを、アプライアンスに直接接続した USB ドライブに保存することができます。また、SFTP がイネーブルになっているサーバにログのコピーを転送することもできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2 [GET_SYSLOG] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します。

- 接続された USB ドライブにログのコピーを転送するには、[USB] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ログのコピーを SFTP で到達可能なサーバに送信するには、次の手順を実行します。
 - a. [SFTP] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - b. SFTP サーバの IP アドレスまたはルーティング可能な DNS 名を入力し、**Enter** キーを押します。
 - c. SFTP サーバにログインするときに使用するユーザ名を入力し、**Enter** キーを押します。
 - d. SFTP サーバにログインするときに使用するパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。SFTP ファイル転送に成功した場合は、AAI のシステム メッセージが表示されます。
-

Java キャッシュのイネーブルとディセーブル

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [CHANGE_JAVA_CACHE] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 3** Java のキャッシュを有効にするには、[ENABLE] を選択し、**Enter** キーを押します。
Java のキャッシュを無効にするには、[DISABLE] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 4** **Enter** キーを押します。
-

アプライアンス管理パスワードの変更

アプライアンス管理パスワードは変更できます。入力するパスワードは、6 文字以上にする必要があります。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [RESET_PASSWORD] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 3** 新しいパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 4** パスワードを正しく入力したことを確認するために、もう一度入力し、**Enter** キーを押します。



(注) DMM の Web ベースのグラフィカル ユーザ インターフェイスでも新しいパスワードを入力する必要があります。

- ステップ 5** DMM に管理者としてログインします。次に、ページの上部右端にある無題のリストから、[Video Portal] を選択します。
- ステップ 6** [Setup] > [Deployment Locations] を選択し、ページの一番下までスクロールします。
- ステップ 7** [Video Portal Metadata] 領域で、[Login password] テキスト ボックスに新しいパスワードを入力します。
- ステップ 8** [Save Deployment Locations] をクリックします。
-

アプライアンス ソフトウェアのパッチまたはアップデート

ソフトウェア パッチまたはソフトウェア アップデートをインストールできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [SOFTWARE_UPDATE] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 3** CD-ROM を挿入し、**Enter** キーを押します。
-

アプライアンスの再起動

アプライアンスを再起動できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [REBOOT] を選択し、**Enter** キーを 2 回押します。
-

アプライアンスのシャットダウン

アプライアンスをシャットダウンできます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [APPLIANCE_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** [SHUTDOWN] を選択し、**Enter** キーを 2 回押します。
-

Video Portal アプライアンスの管理オプションの使用

- 「Video Portal の命名または名前変更」(P.4-5)
- 「Video Portal アプライアンスのバックアップ」(P.4-5)
- 「Video Portal アプライアンスのバックアップからの復元」(P.4-6)
- 「ログレベルの変更」(P.4-6)

Video Portal の命名または名前変更

Video Portal には名前を指定する必要があります。名前はいつでも変更できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [VP_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2** [INSTANCE NAME] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 3** 名前を入力します。
入力した名前は、公開している Video Portal の HTTP URL に表示されます。
 - ステップ 4** AAI に入力した名前が表示されたら、**Enter** キーを押します。
-

Video Portal アプライアンスのバックアップ

AAI を使用してアプライアンスをバックアップできます。このバックアップでは、アプライアンスのデータベースと設定情報だけが含まれるファイルが作成されます。メディア ファイルは含まれません。



ヒント

DMS-Admin を使用してアプライアンスをバックアップすることもできます。このバックアップでは、DMM および Video Portal アプライアンスの両方のデータベースと設定情報が含まれるファイルが作成されます。詳細については、Cisco.com で『*User Guide for Cisco Digital Media System 5.1.x*』を参照してください。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [VP_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2** アプライアンスをバックアップするには、[BACKUP_VP] を選択し、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 3** USB ドライブにバックアップするには、[USB] を選択し、**Enter** キーを押します。
-

Video Portal アプライアンスのバックアップからの復元

AAI を使用してアプライアンスをバックアップできます。このバックアップでは、アプライアンスのデータベースと設定情報だけが含まれるファイルが作成されます。メディア ファイルは含まれません。



ヒント

DMS-Admin を使用してアプライアンスをバックアップすることもできます。このバックアップでは、DMM および Video Portal アプライアンスの両方のデータベースと設定情報が含まれるファイルが作成されます。詳細については、Cisco.com で『*User Guide for Cisco Digital Media System 5.1.x*』を参照してください。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [VP_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2 アプライアンスを復元するには、[RESTORE_VP] を選択し、**Enter** キーを押します。

ログレベルの変更

syslog メッセージの詳細度のレベルを変更できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [VP_CONTROL] を選択し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2 [VP_LOG_LEVEL] を選択し、**Enter** キーを押してから、次のいずれかを実行します。

- 最も重大度の高いメッセージだけを受信する場合は、[ERROR] を選択します。
- 警告メッセージおよびエラー メッセージを受信する場合は、[WARN] を選択します。
- 情報、警告、エラーのメッセージを受信する場合は、[INFO] を選択します。
- すべてのレベルの重大度でメッセージを受信する場合は、[DEBUG] を選択します。

ステップ 3 **Enter** キーを押します。

アプライアンスのネットワーク設定の変更



(注)

- Video Portal アプライアンスに割り当てた固定 IP アドレスは変更しないでください。
- DHCP を使用してアプライアンスの IP アドレスを取得しないでください。DHCP システムで IP アドレスが予期せず有効期限切れになる可能性があり、装置の設定をやり直して、切断された接続を再確立するという管理オーバーヘッドが発生するためです。
- Video Portal アプライアンスは配信ロケーションとして使用しないことを強く推奨しますが、使用する場合は次の点に注意してください。[Setup] > [Deployment Locations] を選択して DMM-VPM で配信ロケーションを指定するときに、ホスト名ではなく IP アドレスを使用した場合、ここで Video Portal アプライアンスの IP アドレスを変更すると、DMM-VPM で行った入力の一部が無効になります。配信ロケーション、ビデオ パーツ、ビデオ、プログラムに指定した IP アドレスなどの値は再度手動で入力する必要があります。無効になった IP アドレスを入力されているロケーションすべてで修正するまでは、対応する配信、ビデオ パーツ、ビデオ、プログラムが動作しません。
- ネットワークで DNS サーバを使用している場合は、Video Portal アプライアンスの IP アドレスを変更するたびに、解決可能な DNS ホスト名を Video Portal アプライアンスに割り当て直す必要があります。

アプライアンスのネットワーク設定を変更できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [NETWORK_SETTINGS] を選択し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2 変更するネットワーク設定のタイプを選択します。次のオプションを使用できます。

- [HOST_NAME] : アプライアンスのホスト名を変更するには、このオプションを選択します。
- [TCP_IP] : アプライアンスの IP アドレスの取得方法 (DHCP または固定) を変更するには、このオプションを選択します。DHCP を選択しないことを推奨します。
- [DNS] : アプライアンスのプライマリまたはセカンダリ DNS サーバを変更するには、このオプションを選択します。
- [AUTO_NEGOTIATION] : 速度および二重化を自動ネゴシエーションするかどうかなど、アプライアンスの NIC の速度および二重設定を変更するには、このオプションを選択します。
- [NETWORK_TOOLS] : ネットワークのトラブルシューティングを行うには、このオプションを選択します。

ステップ 3 **Enter** キーを押します。

ステップ 4 新しい設定を入力するか選択して、個々の変更を確認するオプションを選択します。

ステップ 5 変更したすべてのネットワーク設定の組み合わせを確認します。

- すべてが正しければ、**Enter** キーを押します。
- 間違いがあれば、[No] を選択し、**Enter** キーを押して異なる設定を入力します。

アプライアンスの日時設定の変更

アプライアンスの日時を設定できます。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

-
- ステップ 1** [DATE_TIME_SETTINGS] を選択し、**Enter** キーを押します。
- ステップ 2** 変更する設定のタイプを選択します。次のオプションを使用できます。
- [TIME_ZONE]: アプライアンスの時間帯を変更するか、アプライアンスのシステム クロックの UTC の使用をイネーブルまたはディセーブルにするには、このオプションを選択します。
 - [DATE]: アプライアンスの年、月、日を変更するには、このオプションを選択します。
 - [TIME]: アプライアンスの時間、分、秒を変更するには、このオプションを選択します。
 - [NTP]: アプライアンスの NTP サーバの使用をイネーブルまたはディセーブルにする、または、アプライアンスで使用する NTP サーバを変更するには、このオプションを選択します。
 - [SHOW_TIME]: このアプライアンスで有効になっている時間設定を参照するには、このオプションを選択します。
- ステップ 3** **Enter** キーを押します。
- ステップ 4** 新しい日時設定を入力するか選択して、個々の変更を確認するオプションを選択します。
- ステップ 5** 変更したすべての日時設定の組み合わせを確認します。
- すべてが正しければ、**Enter** キーを押します。
 - 間違いがあれば、[No] を選択し、**Enter** キーを押して異なる設定を入力します。
-

データベース複製の確認

**注意**

DMM アプライアンスと Video Portal アプライアンスの間でデータベース複製を設定してイネーブルにする**必要があります**。これを行わない場合は、Cisco DMS は仕様のとおりには動作しません。「データベース複製の設定」(P.5-7) を参照してください。

DMM アプライアンスが一時的にダウンしているか、再起動中の場合は、DMM と Video Portal の間の複製が再開されていることを確認する必要があります。

作業を開始する前に

- AAI にログインします。

手順

ステップ 1 [REPLICATION] を選択し、**Enter** キーを押します。

「Replication to Digital Media Manager: Working」(DMM への複製 : 実行中) というメッセージが表示されます。

